

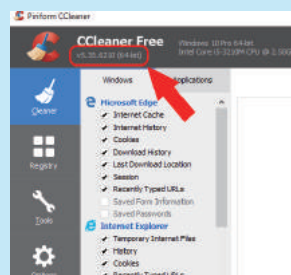
8月中旬以降に「CCleaner」を導入した方はご注意を!

8月中旬以降から9月上旬までに「CCleaner」を導入された方は、アンインストールあるいは最新バージョンへのアップデートを行ってください!

「CCleaner」は、パソコン内に残っている不要なデータなどを簡単に削除してくれるシステムクリーナーソフトです。実は先日、「CCleaner」が何者かに改ざんされた。とのリリースがありました。マルウェアを仕込まれ、正規のダウンロードサーバを通じて配布されていたとのこと。

開発元によると、マルウェアが仕込まれていたバージョンは、Windows 向けの「CCleaner 5.33.6162」と「CCleaner Cloud 1.07.3191」。どうもマルウェアが仕込まれたバージョンは、8月15日に公開されてから、9月12日に更新版のバージョン5.34が公開されるまでの約1カ月にわたって配布されていたようです。

CCleanerを導入している方は、ご利用のバージョンが上記に該当していないかどうか、チェックを行ってください。バージョンの確認は、ソフトを起動したら、右図の赤枠部分をご確認ください。



どっちが賢い!? Siri 対 Google Assistant

Apple のSiri、Google のGoogle Assistant、Amazon のAlexa、Microsoft のCortana と、大手IT企業が音声アシスタント、そしてその背後にある人工知能(AI)技術の開発に力を注いでいます。中でも、最近日本語対応したGoogle AssistantがこれまでのGoogle Nowから大きな進化を遂げているそうです。YouTuberのMarques Brownlee (MKBHD)氏が、Google AssistantとSiriに同じ質問を投げかけ、回答を比較した動画を公開しており、内容が抜粋された記事がありましたのでご紹介します。(https://iphone-mania.jp/news-141704/)

◆MKBHD氏の感想

①Google Assistantのほうがよくしゃべる

Siriのほうがディスプレイ上に幾つか答えを表示するケースが多く、最適な結果を自分で選ぶようになっていきます。普段の利用では好みの問題ですが、運転中など手が離せない場合は、Google Assistantのほうが使いやすいとMKBHD氏は述べています。

②Google Assistantのほうが会話が自然

視聴していても感じましたが、一つの質問をして返ってきた答えについて続けて質問をする場合、Google Assistantのほうが前の質問を「覚えて」おり、会話がスムーズに進行していました。

たとえば「アメリカの大統領は誰?」という質問にはどちらも問題なく回答しましたが、「彼の身長は?」と続けて尋ねると、Google Assistantは正しく答えたものの、Siriは回答できませんでした。「バラク・オバマの身長は?」と言葉を補足しないと、質問が理解できないようでした。

③Siriのほうが豊富な情報を提供する機会が多い

一方で、ある質問に対しGoogle Assistantが単純にひとつの答えしか返さないのに対し、Siriは関連情報も合わせて提供してくれるケースがいくつかありました。

◆ジョーク対決の行方は?

これまでGoogle Nowは答えが機械的で、まったくおもしろくないというのが定説でした。しかしこれはGoogle Assistantでは改善されたようで、Siri、Google Assistantともに、MKBHD氏の質問に、ちょっとしたジョークを返しています。GoogleがGoogle Assistantの開発のために、コメディライターを採用しているのは本当のようです。

Google Assistantの優れている点は、他のGoogleサービスと連携がスムーズな点ではないでしょうか。

検索するならGoogleエンジン、動画を見るならYouTube、地図を見るならGoogleマップ、という風に娯楽や仕事でもさまざまなところで日常的にGoogleのサービスを使われている方が多いと思います。それらのサービスとダイレクトに連携できる、という点が強みではないかなと思います。

そもそも、スマホに向かって話しかけるという行為は、便利さよりも恥ずかしさや人目が気になってなかなか普段使いできないのですが、これに関連して日本でも10月上旬に発売されると発表されているTVなどと連携させるための「Google Home」もありますし、連携できる製品がもっと充実し、便利になりそうですね。

iOS11で搭載された新機能

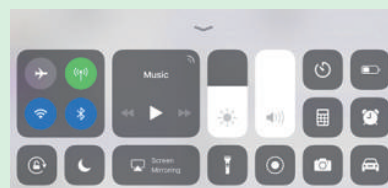
9月22日に発売されたiPhone8/iPhone8 Plusですが、それに先駆けて新iOS11がリリースされました。また、iPhoneX(テン)の発売も11/3(予約開始は10/27 16:01~)と発表されています。iPhone利用者は、これを機会に買い替えを考えている方も多いのではないのでしょうか。今回は、iOS11に変わってどのような機能が追加されたのかを紹介したいと思います。

①ARKitアプリの開放

拡張現実アプリが利用できるようになりました。例えば、アプリ上で現実世界に絵を描いたり、現実世界にあるものに寸法を測れたりなどできます。

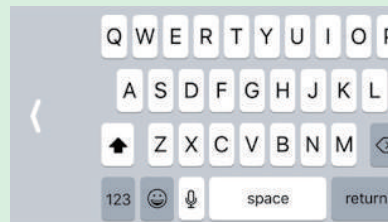
②コントロールセンターが刷新

表示できる機能が追加されたこと、自分で自由にカスタマイズできるようになりました。



③キーボードに片手モードが登場

キーボードの絵文字アイコンを長押しすると、左寄せ・デフォルト・右寄せのアイコンが表示され、使いたいものを選択します。元に戻すときは、同様にデフォルトのキーボードを選びます。



④カメラ機能が充実化

撮影した写真で「ビビッド」、「ドラマチック」などの新しいフィルターで美しい写真が作れるようになりました。スクリーンショット機能では、撮ると画面左下にサムネイルが表示され、タップすると線やテキストを書き込めるようになります。その他にもQRコード機能が追加されたなど。

⑤Siriが進化

通訳機能が追加されました。翻訳できる言語は、英語と中国語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のみとなります。また、テキスト入力のコマンドにも対応しました。

その他にもまだまだ充実した機能が追加されています。今回参考にしたURLをご紹介します。

<https://www.gizmodo.jp/2017/09/new-feature-ios11.html>